

# 鹿屋体育大学 (修学支援基金)へのご支援のお願い

【個人情報に関する確認事項:必須】

個人情報に関する取り扱いについては、こちらからご連絡をお願いいたします。



## 学長挨拶

鹿屋体育大学の教育・研究活動に関し、日頃より温かいご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

本学は、令和3年(2021年)10月1日に開学40周年を迎えました。今後も国立で唯一の体育系単科大学として、スポーツ、武道、体育及び健康づくりの各分野における教育・研究活動のより一層の充実に向け努力していく所存です。

時代は、デジタル駆動型社会として日々著しい変化を遂げています。情報通信技術の進歩は、スポーツ・健康づくりやアスリート支援の効率化・高度化を促進し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の在り方を大きく変えつつあります。そのようなスポーツを取り巻く状況の急速な変化に対し、本学は2050年をターゲットイヤーとする、長期ビジョン“NIFS NEXT30”を策定し、「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」を軸とするアクションプランに基づき、これまで以上にスピード感をもって対応することとしました。その一方で、NIFS NEXT30において策定される大学のミッションを達成するためには、財務基盤の強化が欠かせません。本学では、これまでご支援いただいた「修学支援基金」に加え、この度、教育・研究活動の活性化及び国際交流・社会連携の推進に資することを目的に、「鹿屋体育大学未来創成基金」を創設することといたしました。

教職員自らの努力はもとより、同窓生、在学生やそのご家族、企業・団体等の皆様からのご支援を賜ることで、大学ビジョンNIFS NEXT30を実現する力にしてまいりたいと存じます。是非とも「鹿屋体育大学未来創成基金」を通じて、本学への応援をよろしくお願ひいたします。



NIFS NEXT 30の  
公式サイト

## 基金の種類

### 鹿屋体育大学未来創成基金

本学の教育研究の活性化を図るとともに、国際交流及び社会連携の推進に資することを目的とし、大学全体の活動を広く支援するものとして活用します。

### 鹿屋体育大学修学支援基金

経済的理由により修学が困難な学部学生、大学院生を支援することを目的とし、学生の経済支援を行います。

#### 寄附額

【法人】 10,000円~

【個人】 3,000円~

#### 税制上の優遇措置

##### 【法人】

寄附金の全額を損金算入することができます。

##### 【個人】

###### ・所得税の寄附金控除

所得控除:(寄附金額-2,000円)を課税所得金額から控除

税額控除:(寄附金額-2,000円)×40%を所得税額から控除  
(税額控除は、修学支援基金のみ対象)

###### ・個人住民税(県民税・市町村民税)の寄附金税額控除

県民税:(寄附金額-2,000円)×4%を所得税額から控除

市町村民税:(寄附金額-2,000円)×6%を所得税額控除

#### 公式ウェブサイトへの掲載

希望者は、公式ウェブサイトでご芳名等を掲載予定です。

#### その他の寄附方法

リサイクル募金「きしゃぽん」を開設いたします。



詳しくは、  
本学基金ウェブサイトへ  
申し込みはこちらから

お申込み・お問い合わせ先



かのや  
鹿屋体育大学  
NIFS NATIONAL INSTITUTE of FITNESS and SPORTS in KANOYA

広報・企画室企画係

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1 E-mail : k-kikaku@nifs-k.ac.jp  
TEL:0994-46-4806 FAX:0994-46-2831

令和7年度から新しく掲載している情報のご案内です。詳しくは、公式基金ウェブサイトへ

## 鹿屋体育大学未来創成基金特定基金:課外活動支援基金

鹿屋体育大学未来創成基金の特定基金として、各課外活動団体へ支援する基金を設立いたしました。ご寄附されたい課外活動団体名を指定してご寄附いただく方法と、固有の課外活動団体を指定せず、課外活動団体の活動全体へ還元される事業経費としてご寄附いただく方法がございます。

### 賛助会員制度

未来創成基金では、賛助会員制度を設け、毎年継続的に寄附ができるよう制度を設けました。申込フォームアプリ・寄附申込書によるお申込みは、毎年10月頃に振込先口座のご案内を送付します。

#### 遺贈寄附

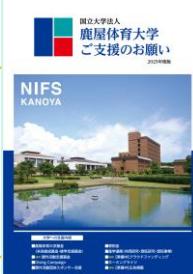
鹿屋体育大学では、社会貢献や母校の発展等のために遺産を寄附したいというあたたかいご意思を、本学の将来へ活用させていただくお手伝いをいたしております。寄附の方法として遺贈による寄附と相続財産からの寄附の2種類を受け付けております。

#### 顕彰及び寄附の謝意: 紺綬褒章(国からの褒章)について

鹿屋体育大学は、公益のために私財を寄附された個人・団体に授与される「紺綬褒章」の公益団体として内閣府賞勲局より認定を受けております。

#### 【大学へのご支援について】

大学へのご支援について、パンフレットにまとめました。⇒



## 鹿屋体育大学応援月間2025

鹿屋体育大学に  
ご支援お願いします!



鹿屋体育大学では、11月から12月の期間を「鹿屋体育大学応援月間」と定め、同窓生、地元住民、企業の皆さんとともに、大学を応援する取り組みを展開いたします。

この応援月間では、鹿屋体育大学および学生へのさまざまな支援のかたちをご紹介します。

これらの支援を通じて、鹿屋体育大学は、学生の育成、地域との連携、そしてスポーツ・健康分野のさらなる発展を目指してまいります。

皆さまの温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。

スポーツで  
未来を拓く  
自分を創る



国立大学法人 鹿屋体育大学  
National Institute of Fitness and Sports in KANOYA

11月から12月にかけて、大学公式ウェブサイトや公式SNSにおいて、新しい取組等のご案内や大学への支援のご紹介などについて、広報活動を行います。詳しくは、おもてにある大学公式基金ウェブサイトのQRコードからご確認ください。



国立大学法人  
**鹿屋体育大学**  
National Institute of  
Fitness and Sports in KANOYA

鹿屋体育大学基金または大学の支援に関するお問い合わせは

基金担当:広報・企画室 企画係

✉ k-kikaku@nifs-k.ac.jp ☎ 0994-46-4806 ☎ 0994-46-2831